

イチオシイベント  
クラブカップ7人リレー  
2004年10月3日

# 駒ヶ根高原 GPS 調査

木村佳司

GPS を使って地図調査。でもその実態は知られていない。クラブカップの地図調査に潜入して、その実態を紹介する。

クラブカップ 2004 7 人リレー  
2004 年 10 月 3 日 (日) 開催予定  
長野県駒ヶ根市家族旅行村にて

## 真夏の予感

今日もジリジリと気温が上がりそうな予感だ。この夏は異常に暑い。7 月末の駒ヶ根高原と言えども、今日は暑い日になるに違いない。朝 7 時には GPS 機材を背負って駒ヶ根高原のトレインに入っていく。



カブトムシみつけ。トレインにて (木村)

## トリンプル GPS

カーナビの技術として GPS は今や一般的となった。GPS が使われているのはカーナビだけではない。今や位置測定のありとあらゆる分野で使用されている。もちろん地図作成の分野でも GPS は大活躍だ。0-map を作成する現場にも GPS は導入されている。

駒ヶ根高原で導入された GPS 機材はトリンプル社のもの。2 年前から日本のオリエンテーリング用地図作成でも導入された。その主たる目的は 2005 年に愛知で開催される世界選手権に向けて、高精度の地図を整備するためだ。

現在では世界選手権用だけでなく、インカレやその他の地図作成にも利用されている。機器の吐き出すデータ精度のよさ、それを使用した調査の効率向上から、トリンプル社の GPS には次々とレンタル予約が入っている状況であ

る。

なお、この GPS 機器は現在日本唯一のオリエンテーリング用地図作成会社「ジェネシスマッピング社」が保有している。



GPS を装備した姿。背中のアンテナが GPS 電波と海上保安庁の電波をチャッチする。手に持ったターミナルで操作する。長時間バッテリーを背負うので、見た目より重い。(和泉)

## ミステリーゾーン・バスター！

さて、駒ヶ根高原の中でも最も調査の難しいエリアにいきなり入る。微地形を構成する城砦の跡、森の中の小径、植生界、岩、穴など次々と座標を落としこんでゆく。いわゆる「地図調査」は行わない。見かけた特徴物の GPS 座標をひたすら多数記録するだけだ。ここでは地図表現までは行わない。



駒ヶ根高原のキャンプはとっても快適！

実際の地図調査はあらためて後日行う。しかしこの調査者にとって、「正確な座標がすでに記載されている原図」は何よりもありがたいものだ。この正

確な座標情報があれば、特徴物の位置の特定に悩まずに済む。

トリンプル GPS の精度は 1m から 3m 程度だろうか、とにかくオリエンテーリングの調査としては十分な精度なのだ。



会場となる芝生広場。巨大な岩を演出にも利用する予定だ。

人手だけで調査した 0-map は必ずどこか歪みがあると言う。その歪んだ範囲、ずれた位置にコントロールが置かれた場合、オリエンテーリング競技に運が介在する。こうしたエリアは「ミステリーゾーン」と呼ばれ、0-map の中でも封印されてきた。そのミステリーゾーンを封印から解き、オリエンテーリングにとって素敵なゾーンに変身させることができるのだ。



サマーボブスレー。風を切るスピード感にお子ちゃま大満足。

正確な地図を手にてできれば、ピンポイント爆撃のようなアタックが可能となる。走りでは負けても、まだまだ若者と張り合えるトレインとなる。若者だって負けてはいない。トマホークミ

サイルのようなクルージング感覚を駒ヶ根のトレインで味わってもらいたい。ただ誤爆（ペナ）には気をつけよう。暴走・自爆・大爆発も。



長野県名物マレットゴルフ。初心者でも楽しみ、奥が深い。長野県ではかなりメジャーなスポーツ。会場の家族旅行村で手軽に楽しめる。

## 星に願いを！

ハイテク GPS 機器も、地球を回る NASA の衛星から発する電波を受信できなければ測量ができない。

どうも今日の朝は衛星の位置と時間が悪いらしい。こうした魔の時間帯があるのは GPS 測量の常識。こーゆー時間は調査を休んでのんびり昼寝でもしているのに限る。現代版の陰陽道のような。



調査のあとのビールは格別！（金田・高橋）  
夜に繰り出す不良キャンパー。

手元の端末には何個の衛星電波を受信できているのかが数字で示される。4個から5個以上の衛星が捕捉できれば、まあ現在位置は割り出し可能。2個以下ではどうしても現在位置を割り出すことができない。難しい理論はあるが、とにかく測量にはたくさんの GPS 衛星からの電波をキャッチしなくてはならない。

衛星状態が良くなるまで、大人気の GPS 機材を遊ばしておくわけにも行かない。少ない衛星を捕まえるべく、森の中へ強硬突入！する。

駒ヶ根高原はここ20年で植林が成熟し立派な森になった。通行可能度もかなり良くなった。おかげさまで GPS 電波は随分と森に遮られるようだ。トレインの西には中央アルプスがそびえており、これも GPS 衛星からの電波を邪魔しているみたいだ。



見た目にも重装備の GPS 調査。（島崎）

そこで衛星を求めて、背中のアンテナ位置を右に左に振ってみたり、その場でぐるぐる回ってみる。GPS 衛星からの電波が捕捉できなければ全く測量不能となる。もう必死。

「お星様！背中のアンテナに降臨してくれー！」

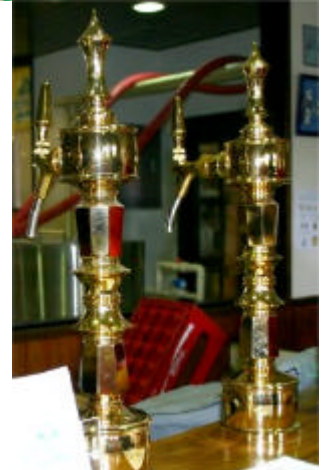
駒ヶ根高原のサルやシカは、森の中でグルグル回転したり、独り言を口走る人間をどんな目で見ていただろう。

## リゾート調査？

重い機材を担いで森を歩き回る作業は、正直人間の方がもたない。（暑いもん！）GPS 機材をフル活用するために3人シフト体制を組んだ。

規定時間が過ぎたので、後のメンバーに調査を交代。本日はお役御免ということで、駒ヶ根高原でのリゾートライフを楽しむ。暑いとは言え、都会に比べれば別天地。オリエンテーリング以外にも色々な楽しみがある。

参加者の皆さんもぜひ駒ヶ根高原を楽しんでもらいたい。



駒ヶ根では「南信州ビール」も醸造している。運転手にオススメの「やわないエール」。ノンアルコールとは思えない旨さ。観光案内所 2F の立ち飲みがオススメ。



オススメするからには、試飲 試飲・（山川）  
（記・木村佳司）